

「夏至」いよいよ本格的な夏です!!



梅雨も一休みの快晴のもと、久しぶりに運動場で全校集会を実施しました。「緊急事態宣言」も解除され、いくつかの制限は緩和されましたが、まだまだ油断はできません。「まん延防止等重点措置」が7月11日まで続きます。さらに気を引き締めて感染症防止対策に努めていきたいと思います。

ところで、昨日は「夏至（げし）」でした。“日の出”から“日の入り”までの時間が1年間で最も長い日です。最近は夜7時ぐらいまでは結構明るい日が多いですが、この日を境にしだいに短くなっていきます。昼の長さが最も短い「冬至」と比べると、東京などではおよそ「5時間」の差があるそうです。「夏至」は24節気の10番目で、毎年6月の今頃となります。（天文学的な観測によって決定されている。）この日には各地で様々な風習がありますので、また調べてみましょう。夏至を過ぎたら、梅雨明けも間もなくです。ジメジメした日ももう少しのガマンです。季節は一気に本格的な夏へと向かっていきます。

全校集会に代えて

久しぶりの全校集会で、皆さんの元気な姿を見ることができて何よりでした。私たち教職員にとっては皆さんの元気な姿こそ、一番の励みになります。明日から大切な期末テストがあり、これから夏の大会・コンクールなどへ向けて部活動も大事になってきます。新型コロナ対策に加えて熱中症対策もしていく必要があります。体調管理をしっかり行って悔いのないよう過ごしていきましょう。

ところで皆さんは“心柄（こころがら）”という言葉を知っていますか？ 著名な詩人の矢崎節夫さんは「言葉は使う人の“心柄”が表れます。」と語っています。さらに、「自分の言葉を最初に聞くのは相手ではなく自分自身であり、“心柄の表れるうれしい言葉”を使いたい。そうすれば、自分自身も、その言葉を聞いた人も幸せになる。」とも語っています。

言葉には、相手を勇気づける言葉やほっと安心させる言葉もあれば、逆に相手を嫌な気持ちにさせてしまう言葉や落ち込ませてしまう言葉もあります。言葉は「両刃の剣」とも言われ、薬にも凶器にもなるものなのです。同じ言葉であっても、相手を元気づけること

ができる時と、かえって悪意にとられてしまう時があります。相手の心の状況によっても言葉の響きは違ってきます。

言葉には、その人の品格が表れます。社会が不安に揺れ動くからこそ温かな言葉を大切にする自分でありたいと思います。皆さん、心を磨いて品格を高めていきましょう。



体育館のエアコン工事が進んでいます。

体育館の中にエアコンの室内機（8機）の設置工事が進んでいます。後は室外機と室内機を接続し、改装等をきれいに仕上げる作業に入っていきます。何とか7月上旬には

試運転の予定です。今年は、涼しい夏、そして暖かい冬になりそうですね。楽しみです。

校長談

「夏至」と言えば、北半球では夏至ですが、南半球では同じ日が、最も昼の時間が短い日「冬至」となります。さらに南へ進んで南極付近になると一日中太陽が昇らない「極夜」となります。逆に北極付近では一日中太陽が沈まない白夜となります。私はこの「極夜」をフィンランドで、「白夜」をカナダで経験しました。共に学生時代（ちなみに私は30歳まで学生でしたが…）でしたが、旅行でそれぞれの地を訪れました。

特にフィンランドではきれいなオーロラも観ることができました。オーロラは日本の北海道でも見るそうですが、一度は本物を見ておいた方がよいと思います。寒い中で出てくるのを何時間も待ちました。それでも旅行期間中の数日間で一回も出ない時もあるそうで、ガイドさんに「見られたこと自体がとてもラッキーです」と言われたこともあって、ものすごく感動したことを覚えていますし、あの時の素晴らしい光景は今でも鮮明に思い出します。

私は社会科の教員ということもあって、学生時代から様々な国（のべ30か国ぐらい）を旅行しました。いつもお金がなかったので泊るところも交通手段も最低クラスで、怖い経験もたくさんしました。しかし、今思えばその一つ一つがその後の人生の役に立っていることを感じます。また、多くの人との出会いがあって、多くのお世話をいただきました。中には今もなお、お世話になっている方もいます。旅（特に海外）は人生経験としてとてもおススメです。様々な驚きと人との出会いがあります。今はコロナ禍で思うようにいきませんが、これが収まって、再び旅行ができるようになったら、そして、皆さんが大人になって、自分でお金と時間を費やせることができるようになったら、ドンドンいろんなところを旅して回ってください。